

DEBUT 首長

大阪府吹田市長 井上 哲也氏



行政・経済・教育に維新起こす 大阪市長選結果で首長連合も

大阪府吹田市 大阪府北部に位置し、名神高速、中国自動車道などの結節点。大阪大学、関西大学など4大学が集まる文教都市。人口約35万人（2011年8月末）

——大阪府の橋下徹知事が代表の地域政党「大阪維新の会」から出馬し、初の市長となった。

市長になってから維新の会の顧問になり、同会より市長の仕事を優先している。私が市長に就任したからといって、（橋下知事が出馬の可能性もある）11月の大阪市長選への影響も、（大阪市や堺市を再編して広域行政を一本化するため維新の会が主張する）大阪都構想への影響も当面はないだろう。

私は市長就任の直後、「大阪都構想を支持する自治体首長と“首長連合”を組みたい」と話していたが、現在は府内の自治体の首長の多くが都構想についてよく知らず、首長連合を組む状況ではない。ただし大阪市長選で維新の会候補が勝てば、都構想について多くの首長が私に

話を聞きに来るのではないかと。

——市長就任の直後、「財政非常事態」を宣言した狙いは。

2011年度の一般会計当初予算は歳入1103億円のうち、財政調整基金からの繰入金48億円、臨時財政対策債からの借入れ37億円が含まれ、合計85億円の赤字が潜在する。貯金取り崩しと借金に頼って予算を組む赤字体質を抜け出さなければならない。財政規律を堅持し、収入に合わせて支出を組むことを原則に、抜本的な行政改革への姿勢を明らかにした。

臨時財政対策債を発行せず、財政調整基金を崩さず、14年度決算で経常収支比率95%（10年度102.9%）を達成したい。

——市長選公約に掲げた「3つの維新」（行政の維新、地元経済の維新、教育の維新）を進めている。

市は人事給与制度に多くの問題を抱えており、公務員制度改革を訴えてきた。国家公務員に対する地方公務員の給与水準を示したラスパイレス指数は10年に101.6と府内自治体で最も高い。市長の給与は30%、退職

金のうえ・てつや 1957年大阪府東大阪市生まれ。80年和歌山大学経済学部卒。吹田市議会議員、大阪府議会議員を経て4月の市長選で初当選。府議時代に大阪維新の会総務会長を務め、現在は同会顧問。家族は妻と娘3人。趣味は読書とウォーキング。54歳。

金は50%、市職員の給与は3～12.5%それぞれ削りたい。

約1300の事業すべてを年度内に見直すため、外部の識者や市幹部によるマネジメントチームを6月に設けた。市議会にも参加を呼びかけている。

——地元経済の維新と教育の維新はどのように進めるか。

地元経済の維新として9月に市内の大手企業の社長らと初めて面談し、「市内に本社を置くのはなぜか」をうかがった。うかがった意見を参考に企業の市外流出を防ぎ、市外からの企業誘致にも役立てたい。老舗企業とも面談し、これらの会合を定期的に開きたい。

JR吹田操車場跡地の再開発を進めており、医療拠点にするために市内の国立循環器病研究センターの移転を望んでいる。

教育の維新では小中学校の放課後学習を新たに導入し、子供らの学力向上もめざす。

（聞き手は大阪地方部編集委員

種田 龍二）